

『どんなふう飛ぶかな』 5歳児 9月 伏見こども園

飛ぶかな？



飛ばしてみるよ

引っ張って飛ばそう！



ロープとスーパーボールを持って引っ張って飛ばす

エピソード

飛ばすもの … ○ 飛び方 … —
飛ばす方法 … ■

鉄棒にフック付きのロープをガムテープで付け始めたAくん。引っ張りながら伸び具合を確かめ、頑丈になるようになっていました。

手に卵型の木の玉を持ち、ロープと一緒に引っ張って飛ばすと、鉄棒の下に落ちました。Aくんは近くにいたBちゃんと顔を見合わせて「あっ！」と微笑みました。

今度は小さいスーパーボールで試します。ロープを両手で引っ張ると、木の玉よりも遠くに飛び、「ちよっと飛んだ」と、伝えます。保育者が「さっきよりも飛んだね」と、Aくんの気付きを受けとめると、繰り返し飛ばして遊んでいました。

また、Aくんは「ビー玉は飛ぶかな」と小さいビー玉を選び、両手で飛ばします。ビー玉は目では見えない所まで飛んで地面に落ちました。Aくんは「めっちゃ飛んだ！見て！」と、ビー玉を走って追いかけます。Aくん「ここまで飛んだよ」、Bちゃん「すごい！」と、遠くまで飛んだことに驚いていました。保育者が「どうしてこんなに飛んだのかな」と尋ねると、Aくん「ビー玉は軽いからよく飛んだ」と、繰り返し遊ぶ中で気付いたことを話していました。

子どもの育ちや学び

- ・鉄棒にガムテープでロープを付け、引っ張っても鉄棒からとれないような飛ばす装置をつくりました。
- ・木の玉やスーパーボール、ビー玉を選び、飛ばして遊ぶことを楽しんでいます。遊ぶ中でロープの引っ張り具合や飛ばすものによって飛び方が変わること気付いています。
- ・飛んだものを目で追いかけたり、落下した地点を確かめたりすることで「遠い・近い」「長い・短い」といった距離を体感しています。
- ・飛ばしたものが思ったよりも飛んだり、飛ばなかったりする様子に驚きや面白さを感じています。

保育者の思い

- ・鉄棒にフック付きのロープを付けて飛ばす装置をつくる姿があったため、太さの違うゴム紐も用意し、様々なもので試せるようにしました。
- ・飛んだ距離に目を向けられるように、子ども達の気付きを受けとめました。
- ・飛ばす方法や飛ばすものを考えたり、思いもよらない飛び方に面白さや驚きを感じながら、子ども達が繰り返し試して遊ぶ姿を傍で見守りました。

家庭だったら・・・

子ども達は繰り返し遊ぶ中で、ものの性質やものが飛ぶ面白さや飛ぶ距離などに気付き始めています。ご家庭でも、子ども達のつぶやきや姿から、感じていることや気付きを受けとめてみてください。お家の方も一緒に楽しめることがあると思います。